

## 令和4年度

### お茶の水女子大学 KSP-SP 奨学金（予約型奨学金）

#### 募 集 要 項

本奨学金は、株式会社 KSP-SP 様からの寄附に基づき、マーケティング分野を志し、本学大学院博士前期課程に強く進学を志望する成績・人物とも優秀な学生に対し、進学後の修学の支援を行うことを目的とする返済不要の給付型奨学金です。入学前に奨学金を申請し、採用となった場合、入学後に奨学金を受け取ることができます。

◆**申請資格** 以下の1～2のすべてを満たす日本国籍を有する者

1. マーケティング分野を志す者
2. 令和4年3月に本学学部を卒業見込みの者で、引き続き本学大学院博士前期課程に進学予定の者

◆**給付額・採用者数**

- ①奨学金給付額 在籍中 50 万円を限度（1 年につき 25 万円）※返済不要です。
- ②採用者数 3 人

◆**申請方法**

申請者は、下記(1)提出書類（「④指導教員推薦書」を除く）を学生・キャリア支援課（学生センター棟2階）へ紙媒体により提出してください。

「④指導教員推薦書」については、申請者が指導教員へ作成を依頼し、指導教員が学生・キャリア支援課メールアドレス（gakusei@cc.ocha.ac.jp）へ電子媒体により提出してください。

(1) 提出書類

- ①②④は大学ホームページから様式をダウンロードし作成してください。

[申請者が紙媒体で提出]

- ①お茶の水女子大学 KSP-SP 奨学金申請書(様式1)
- ②小論文(様式2)「KSP-SP 奨学基金の趣意 (P.3 参照) を読み、マーケティングについて自分が取り組みたいこと・思うこと」
- ③成績証明書

[指導教員が電子媒体で提出]

- ④指導教員推薦書(様式3)

(2) 申請期間

- ①理系（ライフサイエンス専攻、理学専攻、生活工学共同専攻）進学希望者

令和3年 7月1日（木）～7月12日（月）17:00 まで

- ②文系（比較社会文化学専攻、人間発達科学専攻、ジェンダー社会科学専攻）進学希望者

令和3年10月1日（金）～10月11日（月）17:00 まで

◆**審査**

書類審査を行い、その合格者に対しプレゼンテーション審査（理系は令和3年9月、文系は令和3年11月予定）を実施します。

◆**採用の内定と決定**

プレゼンテーション審査合格者は、本奨学金の内定者となります（本奨学金の内定は本学の合格を保証するものではありません）。

奨学生の内定を受けた方は、本学入学後に奨学生採用手続きをとることにより、正式に採用が決定します。

◆**奨学金授与式**

本学大学院博士前期課程入学後、奨学生採用者に別途お知らせします。

◆**その他**

※日本学生支援機構奨学金、その他併給可能な他機関の奨学金、及び入学料免除や授業料免除と併願・併用可能です。なお、桜蔭会研究奨励賞とは併願可能ですが、併用はできません。

※休学（留学又は病気等真にやむを得ないと認められる理由による休学を除く。）した場合は、休学を開始した日以降の奨学金は支給いたしません。

※奨学生に採用された方は、年1回（春頃）開催される報告会に参加していただきます。

また、毎年次末までに、指導教員の承認を受けた報告書を提出していただきます。

※提出された申請書等は、一切返却いたしません。

※申請書等に記載されている個人情報、本奨学金業務に限定し利用するものであり、その他の目的に使用することは一切ありません。

【問合せ先】

学生・キャリア支援課

（学生センター棟2階）

Tel: 03-5978-5148

Mail:gakusei@cc.ocha.ac.jp

## KSP-SP 奨学基金の趣意

世界の女性リーダーの中で

マーケティングに通じた人材の比率は、今後ますます高まる。

日本においても欧米においても消費財メーカーの経営者の多くは  
マーケティングの経験者である。

組織の意思決定を支援するマーケティング・リサーチ部門においては、  
欧米では部門責任者の多くが女性である。

しかしながら、日本においてはその傾向が見られない。

欧米でのリサーチ部門の女性の躍進の背景は、

購買者は、家族の代理購買もあることから多くが女性であること、  
女性の感性と論理への丁寧さが認められている、ことによる。

マーケティングは、

顧客(他者)を良く理解し

自らコントロールできる資源をいかに活用し

最大の満足を引き出す

確率をどう高めて行けるか？

という人間の普遍的なテーマを課題とする。

このためには広範な知識と未知へ挑戦する勇気が求められる。

この大きなテーマにチャレンジして行く入り口は、

理系の数学・統計学や、

文系の心理学、社会学、家政学、経済学等の基本的な分野から

IT や AI といった先端分野も広く考えられる。

卒業後も、マーケティングに継続した関心を高く持ち、

将来、企業および非営利組織の経営者や、

社会にイノベーションを引き起こせるマーケティング・リサーチャーに  
成長していく人材が現れることを楽しみとしたい。

2017年 秋分の日

(株)KSP-SP 代表取締役社長

山中 正彦